


児島湾で古くから行われていた独特の漁法  
かしき網漁法コレクション



指定区分	県指定重要有形民俗文化財
読みかた	かしきあみぎよほうこれくしょん
所在地	岡山市北区後楽園 岡山県立博物館
指定年月日	昭和53年4月14日
解説	24種87点。明治から昭和初期に製作されたもの。かしき網漁法は児島湾で古くから行われていた独特の漁法。湾内の所定の場所に約6m間隔に12本の樫木(かしき)を打ち、それに袋網を取り付け満ち潮時には網の口を湾口に、引き潮時には湾内に向けて張り、潮の流れにのってくる魚を捕獲する。冬から春の白魚漁、春のえび漁などに使用された。
アクセス方法	JR岡山駅から徒歩約25分／路面電車「城下」下車徒歩約10分／岡電バス「後楽園前」下車すぐ
公開状況	岡山県立博物館にて展示 [問い合わせ先] 県立博物館 086-272-1149
設備	駐車場は岡山後楽園駐車場を利用。 
備考	

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定重要有形民俗文化財
ぶんかざいめい (文化財名)	かしき網漁法コレクション
よみかた	かしきあみぎよほうこれくしょん
しょざいち (所在地)	岡山市北区後楽園 岡山県立博物館
していしたひ (指定した日)	昭和53年4月14日
せつめい	児島湾(こじまわん)で古くから行われていた、かしき網漁法(あみぎよほう)という漁(りょう)で使(つか)われていた道具(どうぐ)です。明治(めいじ)から昭和(しょうわ)のはじめごろに作られていたものが県立博物館(けんりつはくぶつかん)で保管(ほかん)されています。